



# 地域支援センター「しせい」



第7号 福島県立相馬支援学校地域支援センター通信【令和3年2月15日発行】

## 「共生社会の実現に向けて」リモートによる研修会の実施

2/5(金)「令和2年度地域支援センター特別支援教育研修会」(講演会)ということで、東京都杉並区立桃井第一小学校 統括校長 高橋 浩平氏を講師に、「杉並四小におけるインクルーシブ教育の実践～共に学び共に支え共に創る～」をテーマにご講演いただきました。本校の全ての教職員が参加し、外部からも小・中学校や高等学校の先生方17名にご参加いただきました。

現職の校長先生が率先して行った教育実践ということで、大変有意義な内容でした。「できないことをほったらかしにしない教育」ということで、障がいのある児童だけではなく、学力に課題のある児童、生活面で課題のある児童、不登校の児童、外国籍の児童等様々な児童すべてをインクルーシブ教育の対象として支えて来られました。担任としてできる個への学習支援、教育機器の活用、学級集団づくり、校内体制づくり、支援員や学生ボランティアの活用、教科の少人数指導、補習授業、通級指導、保健室登校、校長室登校など非常に具体的にお話いただきました。

何よりも、校長先生が児童一人ひとりとの信頼関係づくりを大切にしていることを、拝見した多くの写真から感じさせられました。

緊急事態宣言が出ていたこともあり、今回はリモートでの実施となりましたが、参加された先生方からは大変好評を得ました。リモートでの講演は距離や時間を考えずに実施できることから有効ですので、今後も活用していきたいと考えています。



## 先生方へ しせいの教材ご活用ください

地域支援センターでは、予算から各種教材を購入させていただいております。2週間程度貸し出し、サンプルとしてご使用いただいております。お気軽にご利用ください。



「どっちがかっこいい」  
生活ルールやマナーが  
一目で分かる。



おすすめ!「読みのアセスメント・指導パッケージ」読みの困難にはビジョントレーニングだけじゃない。音韻認識を高め、つまづきのある読みを流暢な読みへ!



「表情カード」  
自分の感情・人の感情の  
理解する活動に使用。



「イヤーマフ」  
落ち着かなさは聴覚過敏  
かもしれない?試しに使っ  
てみてください。

他にも、行動面の問題やトラブルの原因について客観的に学べる「SST連続絵カード」や、ゲームを楽しみながら聞くことや話すことを学べる「トーキングゲーム」、落ち込んだ時、カッとなった時に視点を変える「かえるカード」、読み飛ばし防止、光過敏・視覚過敏用 定規「リーディングルーラー」(色付き定規)などあります。ぜひお試しください。

## 本校におけるICTの活用について

現在、文部科学省から示されているように、ギガスクール構想として、児童生徒一人1台の端末（パソコン、タブレット端末等）を活用した学習に向けて、環境整備を行っているところです。これまでも、本校をはじめ特別支援教育においては、様々なICT機器を活用して授業を行ってきました。今後も児童生徒に適した学習環境を整え、ICTやそれ以外の支援方法を組み合わせて、授業を展開して参ります。

本校保護者の方々には先日ICT活用に関するアンケートのご協力ありがとうございました。ご家庭での類用状況や保護者の方々のご意見等を今後の教育活動に生かしていきます。アンケートの内容から、例えば、小学部では「スマートフォンやタブレット端末、パソコン等の基本的な操作」「両親等のスマートフォンやタブレットを使用する際の約束」「間違った操作や約束を守らないことで起こる危険や健康への影響」、中学部では「タブレット端末等を用いての教科学習、個別学習」「実際にSNSを利用している生徒がいることも踏まえてのSNSの正しい使い方」「ゲームでの課金やキャッシュレスの決済についての基本的な知識や怖さ、正しい使い方」、高等部では、「通学や生活の中でのスマートフォンでの通話の仕方」「オンラインでの買い物の仕組み、SNSの仕組みや危険性について」「災害時、緊急時に自ら情報を得て行動すること、安全に対応できる方法」といったICT機器の基本的な理解や、情報モラルについて計画的に学習する予定です。

児童生徒のICTを活用した学習のため、教員自身も校務において積極的にICTの活用に取り組むことで、スキルアップを図っています。また、児童生徒の見本となるような個人情報やSNSの使用について情報モラルをもって取り扱います。保護者の方々におかれましても、お子さんの見本となるよう今一度ご自身の使用について振り返ったり、ご家族で話し合ったりする機会をお持ちいただくようお願い致します。

また、本校保護者、関係機関の皆様から、今後スマートフォン等を使ってQRコードを読み取って、アンケート等に答えいただくこともあるかと思えます。その際にはご協力よろしくお願い致します。

(ICTプロジェクト担当 小学部副学部主事 加藤 良一)



パワーポイントを使っての説明。動画なども取り入れることで、注目を促します。



「芋虫ロボット」前進、右折、左折、後退など組み合わせ、芋虫を目的地に進めます。プログラミングの基礎を遊びながら学びます。